

様式第 2 号

意見交換会実施報告書

実施日時	令和 6 年 11 月 22 日（金） 午後 3 時～ 5 時		
実施場所	宮沢地区公民館 2 階		
出席議員	菅野 修一	菅藤 昌己	安井 一義
	星川 薫	鈴木由美子	畑中 和恵
	高橋 隆雄	青野 隆一	
参加者数	男性 11 人 女性 3 人 計 14 人 (団体等の名称 宮沢地区区長会・民生児童員)		
実施概要	テーマ：1. 少子高齢化が進行する地域において地域力を維持発展させる対策について 2. 高齢者社会におけるデジタルデバインド対策について 3. 災害防止対策の県と市の連携について 4. その他（指定管理鳥獣対策事業交付補助金などについて）		
	【2. 主なご意見・ご要望等】 ■宮沢地区は少子高齢化が進み、まもなく小学校が閉校する。地域の存続が難しくなっている。これまで以上に行政の支援が必要になっている。 ■除雪券の配布、特に豪雪対策本部ができてからの配布がとても大変。郵送できないかといったが、金券で領収書が必要なので無理だと言われた。 ■空き家対策について、特に道路沿いの小屋の解体に対し、住宅の半額でも補助してもらえないか。 ■イノシシ対策として、広範囲な電気柵の設置にも市と県が連携して補助してもらえないか。 ■野球スポ少を宮沢小と長根山でやっている。長根山にも道具置き場を作ってもらいたい。 ■神奈川県秦野市では習い事などに 300 円で送迎してくれる制度がある。送迎だけでなく学童でも英語が学べるようにしていただきたい。 ■高校に通うとき引っ越しする人が多い。電車の定期券の助成制度があればいい。 ■今年 3 回の避難指示が出たが防災無線がなかった。個別受信機も大本が利かなきと役に立たない。区長が 1 軒 1 軒避難するよう呼びかけたが、時間がかかり二次災害の危険がある。 ■防災無線は単独でも放送できると試したが、豪雨の中、傘をさして、ボックスを開けて、懐中電灯を持ってとなると使いづらい。放送設備が公民館など室内にあれば使える。		

■テレビや防災アプリなど複数の伝達手段が必要。機器の操作などについて移動市役所が訪問をして説明してもらえれば一番いい。マイナナンバーカードをもらうため公民館まで区長さんが乗せていったというのでは意味がない。スマホを個人使用しないことを条件に補助することもしていただきたい。

■中島中継局が機能していないために宮沢の奥のほうまで電波が届かない。市役所との話し合いを何回も行ったが、いくら待ってもその結果が我々のところには何も届いていない。

■県の説明会があって、初めて防災工事をやりますという話だが、5・6年かかるという話だった。山際に近い一軒は、雨が降ると心配で寝られないため、早急に対応していただきたい。

■災害対応についても、河川は建設課だ、農地は農林課だと何回も足を運ばなければならない。たらいまわしをしないで窓口を一本化してもらいたい。

■床上浸水1戸、床下浸水4戸あった。被害の出るところというのは大体わかっている。こっちは建設課、こっちは農林課といわれると不思議な感じがする。県と市なの壁をとっばらって、災害を未然に防止するような対策をしてもらいたい。

■災害の際、水門が壊れていて危険な状態があった。市に電話したら、県のほうに連絡するようにいわれた、一区長として電話したが、行政同士で連絡していただけるよう要望する。

■山形県指定管理鳥獣捕獲等事業などの支援について、尾花沢市ではどのような対策を考えているのか。

■消防団員の助成金について、いままでの繰越金でやっているが、その問題で街の真ん中で消防団が解散した、消防団の活動補助金として出してもらえないか。

■いま丹生、正厳、安久戸を通して一般客を乗せてバス通学をしている。令和9年に小学校が統合した場合、利用できなくなるのではと心配している。

■消火栓を囲うのに13万円かかった。補助金ではなく市でやってもらえないか。補助金が入ってくるまで1か月近くかかる。少ない予算の地区会計から、段取りをして建て替えるのは大変だ。

■建て替え期間が長くないように、実績報告と同時に概算払いができるようし、領収書は後出しでもいいように補助金交付要綱を改正していただきたい。

■全額出していただきたい。

■スクールバスについて、小学校は細かく回ってくれるが、中学校はバス停でしか乗り降りできない。一人だけで10分くらい危険な道を歩かなければならない。家の近くまで送ってもらえるようお願いしたい。

■市で街灯はすぐつけてくれた。行政は、事件が起きるとすぐしてくれるが、いわないと何もしない。

【３今後の取り組み】

- ❶意見交換会の内容は、意見交換会終了後、広報広聴委員会で取りまとめ、議長に文書で報告します。
- ❷市政に対する要望・提言等で重要なものは、議長が取りまとめ、市長に文書で提出します。

【議会としての対応】

土砂災害警戒区域の安全対策やスクールバス、移動市役所などについては12月定例会一般質問で取り上げ、高校生の定期代補助などについては市長に政策提言として要望いたします。

【担当課長の回答を求める事項】

- (1) 山形県指定管理鳥獣捕獲等事業などの支援について、尾花沢市ではどのような対策を考えているのか。⇒農林課
- (2) 中島中継局が機能しないために宮沢の奥のほうまで電波が届かない。市役所との話し合いを何回も行ったが、いくら待ってもその結果が我々のところには何も届いていない。⇒危機管理課
- (3) 消防団員の運営については、市として消防団活動補助金（仮称）を出してもらえないか。⇒消防署
- (4) いま通学バスが丹生、正厳、安久戸を通して一般客を乗せている。令和9年に小学校が統合した場合、利用できなくなるのではと心配している。⇒市民税務課

【市長に対する要望事項】

- (1) 尾花沢市自主防災組織防災資機材購入事業費補助金で、金額の大きい消火栓設備関係などは、実績報告で概算払いができ、後で領収書の提出ができるよう要綱改正をしていただきたい。
 - (2) 災害が発生した場合、県、建設課、農林課それぞれの相談窓口を一本化していただきたい。
 - (3) スクールバスについて、中学生はバス停でしか乗り降りできず、危険な道を一人で歩いているため家の近くまで送迎していただきたい。
- ❸この報告書は市議会ホームページに掲載するほか、概要を議会だより等で公表します。